

令和6年度 下水道事業会計予算の概要

- 1 業務の予定量及び推移・・・・・・・・・・・・・・・・P2
- 2 収益的収入及び支出の概要・・・・・・・・・・・・P4
- 3 下水道使用料並びに負担金及び補助金収入の推移・P6
- 4 資本的収入及び支出の概要・・・・・・・・・・・・P8
- 5 都市計画下水道事業受益者負担金収入の推移・・P10
- 6 建設改良費の推移・・・・・・・・・・・・・・・・P11
- 7 企業債残高及び対事業規模比率の推移・・・・・・・・P12
- 8 主要な建設改良事業等について・・・・・・・・P13

水安全部 総務課

1 業務の予定量及び推移 ①

(消費税込)



※1 決算値は事業統計の「水洗化人口」からの転記
 ※2 決算値は「年度末水洗化戸数」

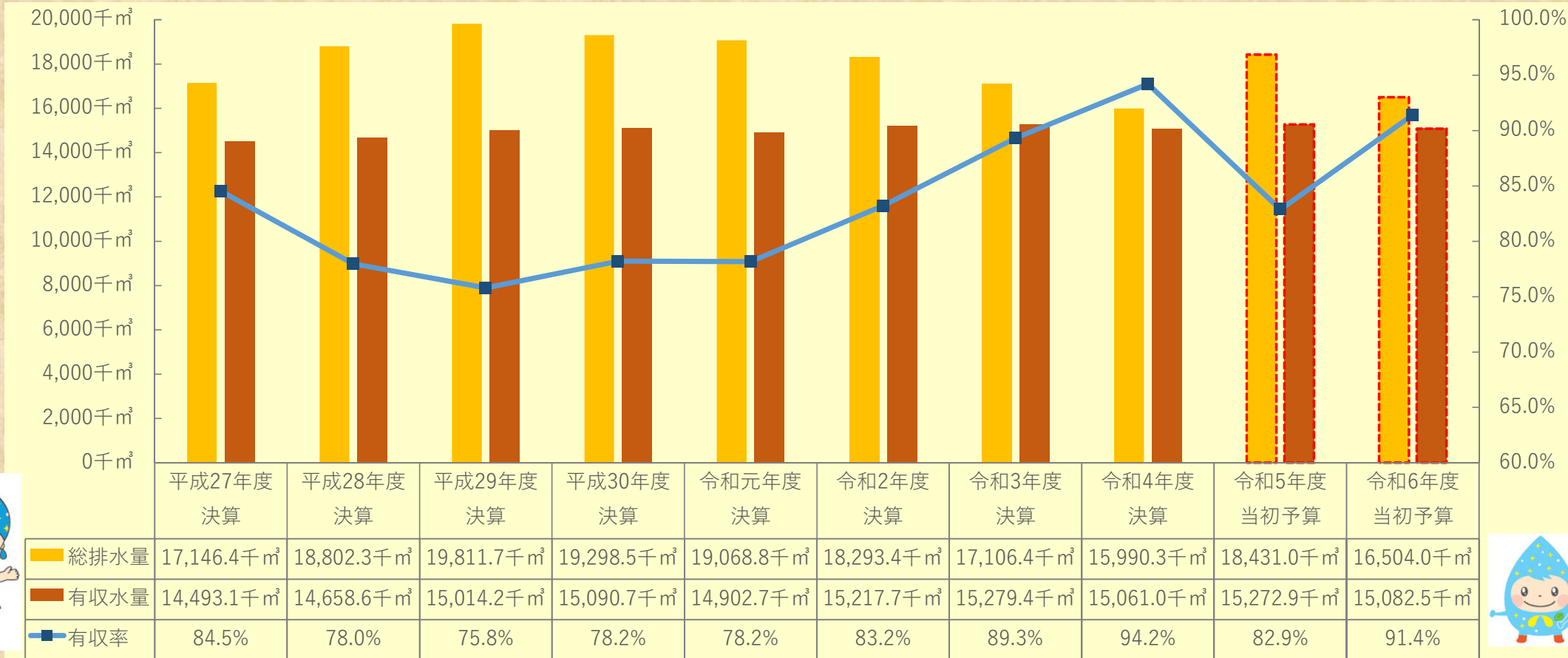
1 水洗化戸数	64,600戸	(前年度増減率 +0.9 %)
2 年間総排水量	16,504,000m ³	(前年度増減率 ▲10.5 %)
3 一日平均排水量	45,216m ³	(前年度増減率 ▲10.2 %)
4 主要な建設改良事業	6,598,493千円	(前年度増減率 +201.4 %)
①雨水整備事業	5,627,527千円	(前年度増減率 +246.9 %)
②汚水整備事業	595,538千円	(前年度増減率 +22.9 %)
③施設改良事業	375,428千円	(前年度増減率 +352.9 %)



年度区分	令和元年度 (決算)	令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算)	令和4年度 (決算)	令和5年度 (当初予算)	前年度当 初予算比	令和6年度 (当初予算)	前年度当 初予算比
水洗化人口 ※1	127,221人	128,616人	131,421人	132,974人	134,483人	+2.0%	135,705人	+0.9%
水洗化戸数 ※2	59,795戸	61,189戸	63,004戸	64,259戸	64,000戸	+1.9%	64,600戸	+0.9%
普及率	92.0%	93.6%	95.2%	95.6%	96.5%	+0.8%	96.6%	+0.1%
総排水量	19,068,786m ³	18,293,360m ³	17,106,409m ³	15,990,347m ³	18,431,000m ³	▲4.8%	16,504,000m ³	▲10.5%
有収水量	14,902,742m ³	15,217,737m ³	15,279,363m ³	15,060,971m ³	15,272,908m ³	▲2.5%	15,082,491m ³	▲1.2%
有収率	78.2%	83.2%	89.3%	94.2%	82.9%	+2.5%	91.4%	+10.2%
一日平均排水量	52,100m ³	50,118m ³	46,866m ³	43,809m ³	50,358m ³	▲5.1%	45,216m ³	▲10.2%

1 業務の予定量及び推移 ②

- **総排水量**・・・地下水位が高い本市の特性等から下水管路への不明水流入の影響が大きく、各年度の天候状況により増減。
- **有収水量**・・・大口使用者排出量の影響を受け増減。有収率は汚水整備の進捗により改善傾向、新年度は前年度比8.5pt増加。



※有収水量と有収率：総排水量のうち下水道使用料徴収の対象となった排水量とその割合。使用料徴収対象外の排水量は、地下水等の不明水、漏水等。



2 収益的収入及び支出の概要 ①

(消費税込 単位：千円)

科目等		年度	令和6年度当初予算額 (A)	令和5年度当初予算額 (B)	対前年度増減額 (A) - (B)	対前年度増減率 (A) / (B)
収益的収支	収益的収入(a)		2,642,768	2,712,894	△ 70,126	-2.6%
	収入	営業収益(下水道使用料)	1,408,340	1,445,440	△ 37,100	-2.6%
		営業収益(他会計負担金)	751,047	770,324	△ 19,277	-2.5%
		その他下水道事業収益(長期前受金戻入等)	483,381	497,130	△ 13,749	-2.8%
	収益的支出(b)		2,544,740	2,557,089	△ 12,349	-0.5%
	支出	職員人件費	85,424	81,310	4,114	5.1%
		流域下水道費	594,144	663,516	△ 69,372	-10.5%
		委託料	346,810	293,953	52,857	18.0%
		修繕費・動力費	78,913	96,204	△ 17,291	-18.0%
		業務費	129,429	109,845	19,584	17.8%
減価償却費・資産減耗費		1,098,193	1,118,487	△ 20,294	-1.8%	
支払利息		152,091	116,359	35,732	30.7%	
その他雑支出		59,736	77,415	△ 17,679	-22.8%	
収入及び支出の差額(c) = (a) - (b)		98,028	155,805	△ 57,777	-37.1%	

○主な増減理由

【当期純利益／純損失(税抜) = 60,551千円】 ※R5:131,868千円

- ・収入・・・総排水量の減に伴う下水道使用料(従量料金)の減少、雨水処理等に係る一般会計負担金の減少。
 - ・支出・・・下水道維持管理に係る委託料、雨水貯留管整備に係る支払利息の増加。排水量減に伴う流域下水道費の減少。
- ※ 減価償却費：現金支出を伴わない支出で、固定資産取得費用の全額を取得年度の費用とせず、耐用年数に応じて配分、各期相当金額を費用として計上するもの。
 ※ 資産減耗費(固定資産除却費/たな卸資産減耗費)：現金支出を伴わない支出で、固定資産の減失等による除却に際し、未減価償却費を費用として計上するもの等。



2 収益的収入及び支出の概要 ②

(消費税込)



収入 26億4,276万8千円

収支差額
9,802万8千円

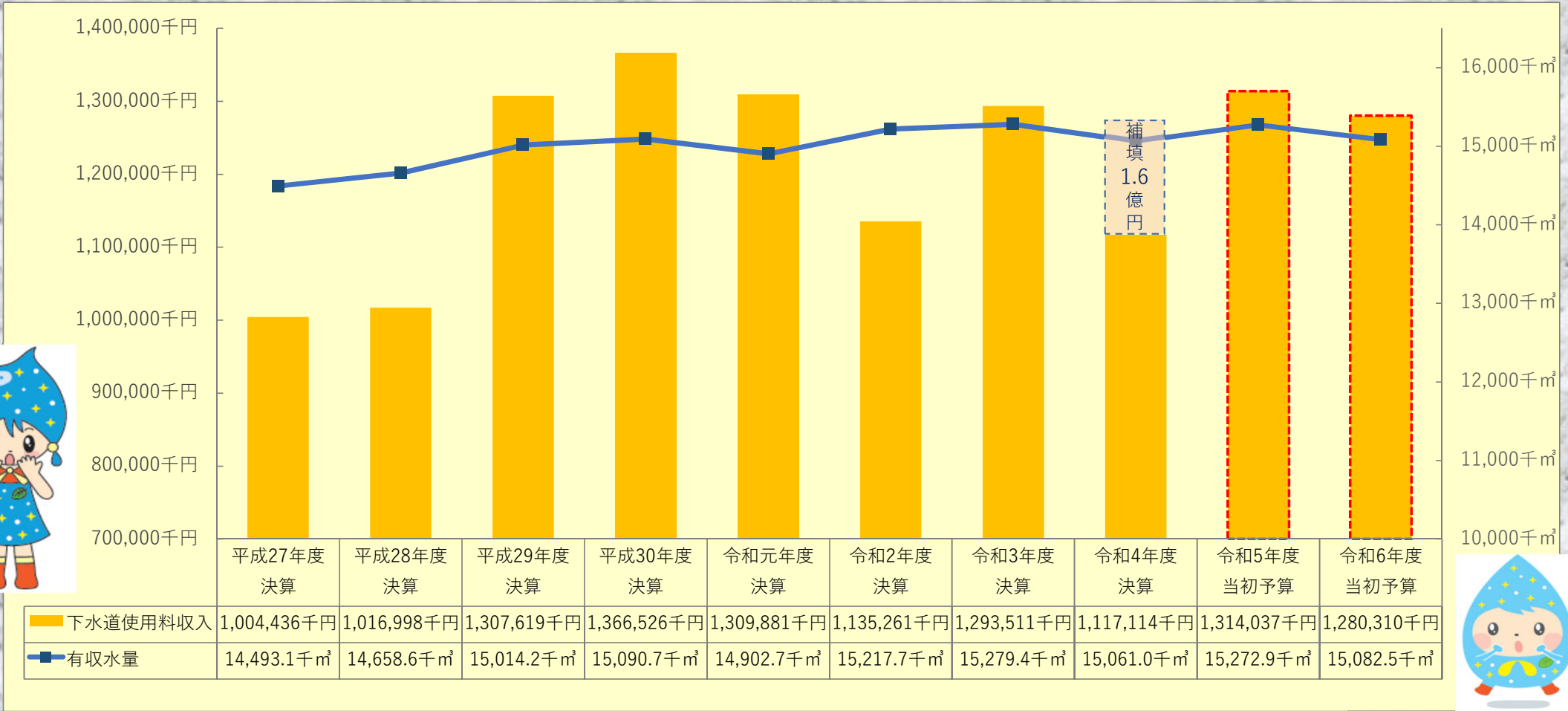


支出 25億4,474万円

3 下水道使用料並びに負担金及び補助金収入の推移①

(消費税抜)
※決算値が税抜表記のため

●下水道使用料収入 平成29年4月の料金改定により増加。平成30年度までは大口使用者排水量増加により増加傾向。以後、大口使用者排水量減少により減収傾向。新年度は有収水量の減少に伴う減少を想定 ※R2・4基本料減免

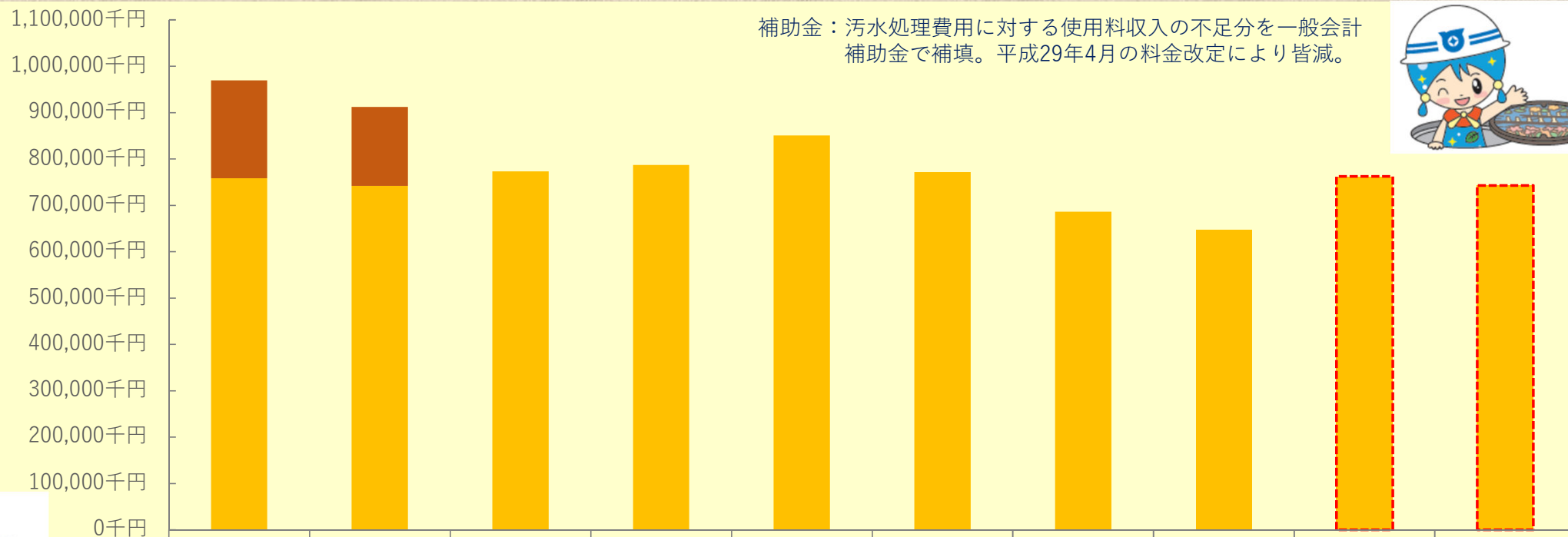


3 下水道使用料並びに負担金及び補助金収入の推移②

(非課税費目)

●一般会計負担金・補助金 雨水処理、児童手当、職員給与等に係る一般会計負担金については、ほぼその全額を占める雨水処理に係る負担金が、降雨量に比例して算定されるため、対象年度の天候により増減。

補助金：汚水処理費用に対する使用料収入の不足分を一般会計補助金で補填。平成29年4月の料金改定により皆減。



	平成27年度 決算	平成28年度 決算	平成29年度 決算	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 当初予算	令和6年度 当初予算
■ 一般会計補助金収入	211,100千円	170,230千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
■ 一般会計負担金収入	758,237千円	741,718千円	772,936千円	786,993千円	850,699千円	771,561千円	685,930千円	646,814千円	762,326千円	742,795千円
合計	969,337千円	911,948千円	772,936千円	786,993千円	850,699千円	771,561千円	685,930千円	646,814千円	762,326千円	742,795千円

4 資本的収入及び支出の概要 ①

(消費税込 単位：千円)

科目等		年度	令和6年度当初予算額 (A)	令和5年度当初予算額 (B)	対前年度増減額 (A) - (B)	対前年度増減率 (A) / (B)
資本的 収 入	資本的収入(a)		6,268,603	2,099,892	4,168,711	198.5%
	企業債		3,234,750	1,166,000	2,068,750	177.4%
	国・県補助金(国庫補助金)		3,018,800	912,970	2,105,830	230.7%
	工事負担金(受益者負担金)		15,053	20,922	△ 5,869	-28.1%
	資本的支出(b)		7,353,354	2,881,159	4,472,195	155.2%
	建設改良費		6,862,788	2,418,436	4,444,352	183.8%
	企業債償還金		480,566	452,723	27,843	6.2%
	予備費		10,000	10,000	0	0.0%
	資本的収支不足額(c) = (a) - (b)		△ 1,084,751	△ 781,267	△ 303,484	—

※ 収入が支出に対して不足する額は損益勘定留保資金、消費税資本的収支調整額で補填。

○主な増減理由

- 収入・・・雨水貯留管建設工事委託等の建設改良費の増加に伴う企業債借入額、国庫補助金の増加。
- 支出・・・雨水事業・浸水対策事業に係る建設改良費、据置期間終了企業債の償還に伴う企業債償還金の増加。

4 資本的収入及び支出の概要 ②

(消費税込)

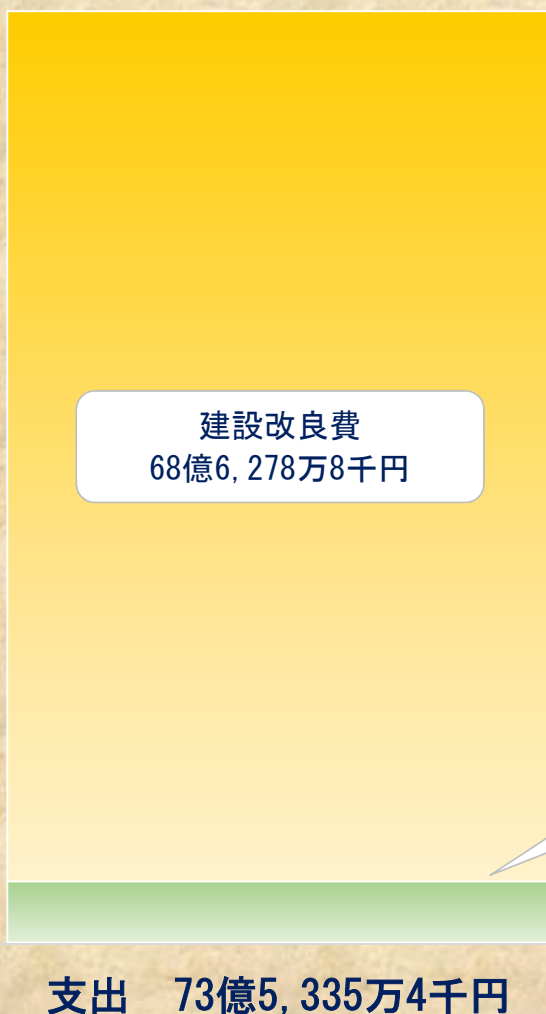


資本的収入の収入が支出に対し不足するため、収益的収入からの損益勘定留保資金(減価償却費や資産減耗費などの現金支出を必要としない費用の計上により留保される資金)等で補てん。



国・県補助金
(国庫補助金)
30億1,880万円

工事負担金
(受益者負担金)
1,505万3千円



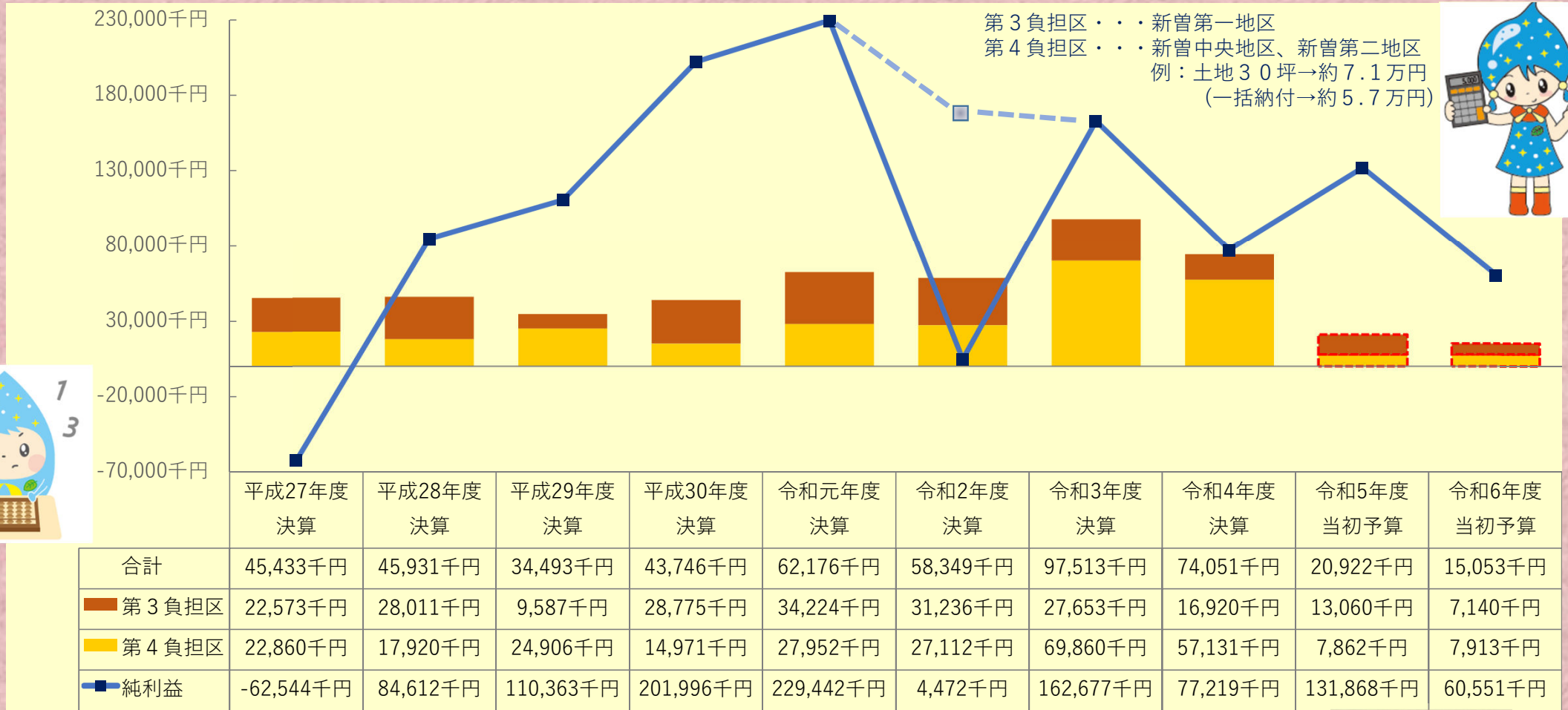
企業債償還金
4億8,056万6千円

予備費
1,000万円

5 都市計画下水道事業受益者負担金収入の推移

(非課税費目)

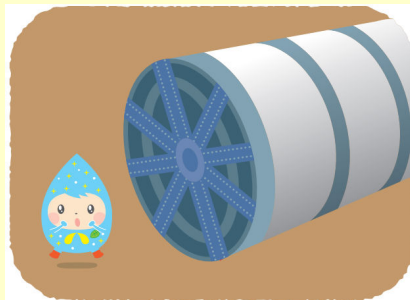
●受益者負担金 新たに築造される公共下水道排水区域内の土地所有者等に対し、所有土地面積等に応じて課される負担金。新年度は、新曽中央地区等における開発面積の減少に伴い減額。 ※純利益：H27特別損失(一般会計清算金)計上



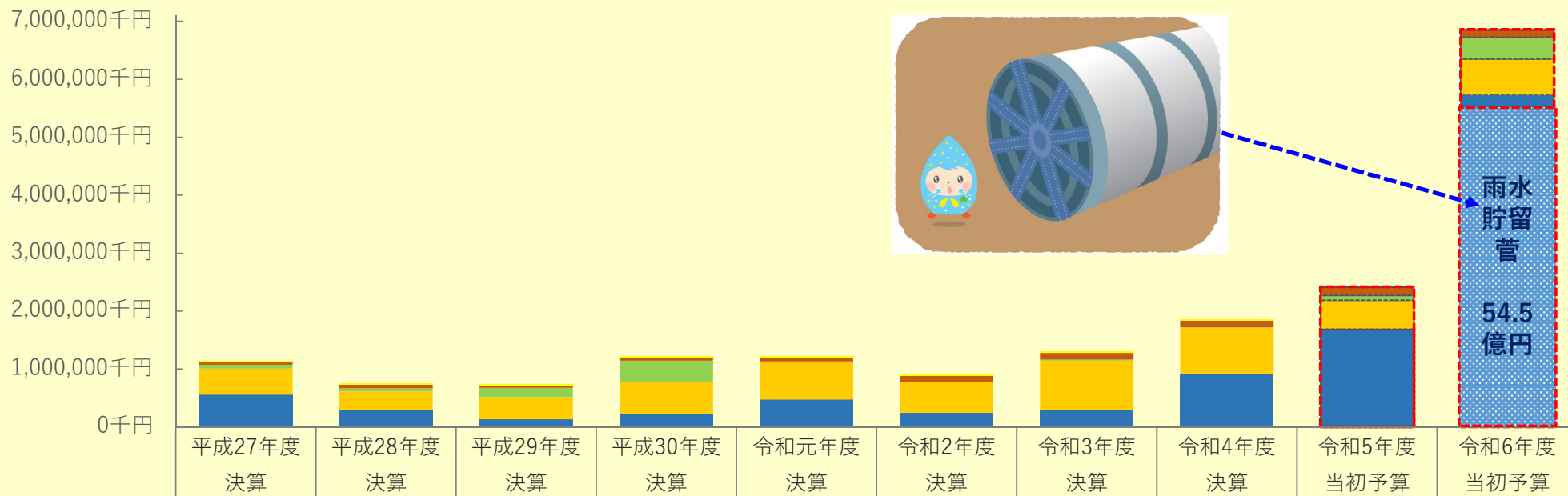
6 建設改良費の推移

(消費税込)

「管渠事業費[雨水]」：雨水貯留施設、管渠等の整備 「管渠事業費[汚水]」：汚水管路等の整備 「施設事業費」：ポンプ場施設の更新・改築等 「流域下水道建設費」：流域下水道施設更新、改築等の負担金 「営業設備費」：人孔鉄蓋及び受枠の製造



雨水貯留管
54.5億円

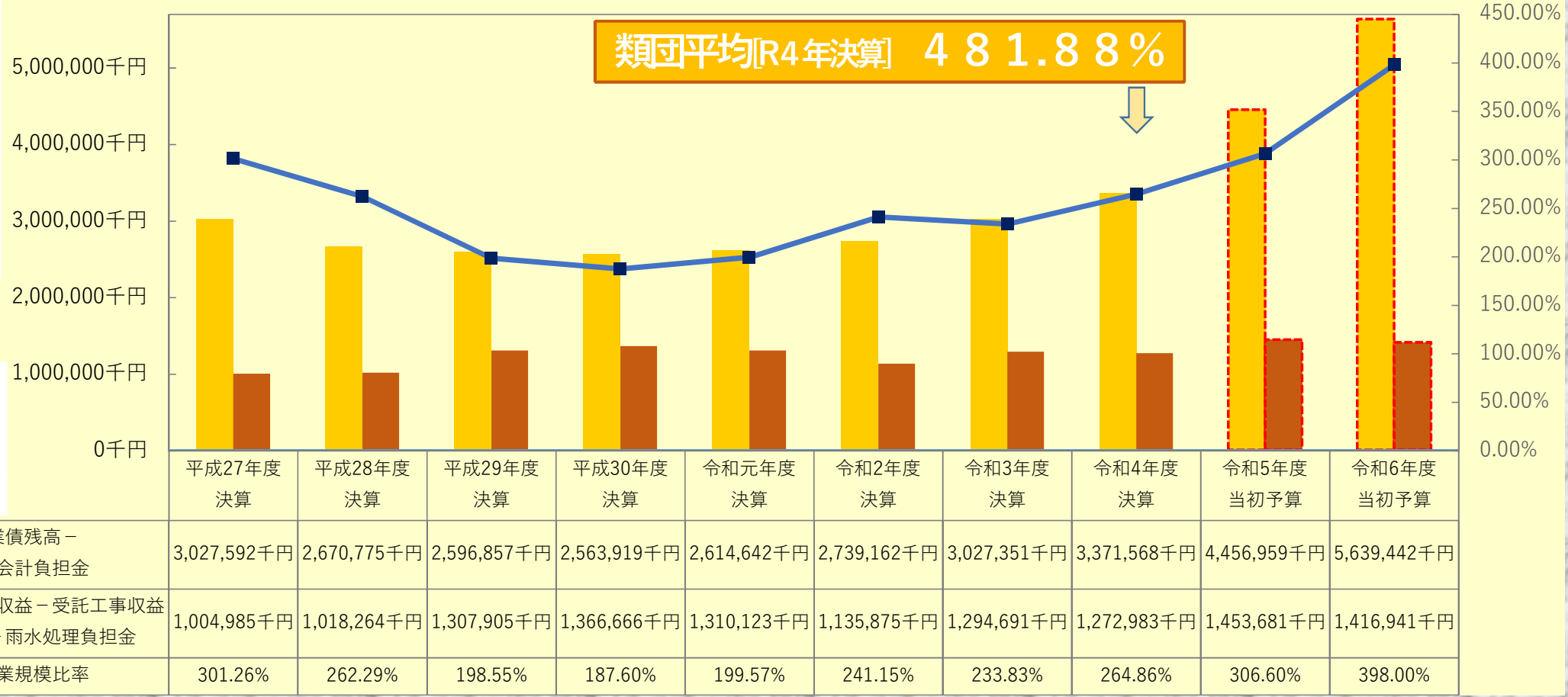


	平成27年度 決算	平成28年度 決算	平成29年度 決算	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 当初予算	令和6年度 当初予算
■ 営業設備費	3,430千円	2,984千円	1,407千円	3,220千円	2,252千円	1,515千円	1,920千円	2,965千円	6,072千円	8,989千円
■ 流域下水道建設費	55,324千円	74,825千円	53,309千円	65,293千円	75,680千円	115,386千円	126,245千円	128,661千円	142,513千円	125,809千円
■ 施設事業費	64,154千円	51,330千円	157,982千円	363,350千円	0千円	0千円	18,975千円	5,830千円	82,899千円	380,428千円
■ 管渠事業費[汚水]	449,672千円	324,527千円	382,558千円	555,385千円	660,333千円	533,199千円	856,536千円	804,720千円	497,143千円	610,023千円
■ 管渠事業費[雨水]	555,703千円	288,933千円	131,355千円	224,652千円	470,433千円	246,685千円	285,417千円	905,744千円	1,689,809千円	5,737,539千円
合計	1,128,283千円	742,599千円	726,611千円	1,211,900千円	1,208,698千円	896,785千円	1,289,093千円	1,847,920千円	2,418,436千円	6,862,788千円

※ 決算値：
繰越額含

7 企業債残高及び企業債残高対事業規模比率の推移

(企業債：非課税費目)

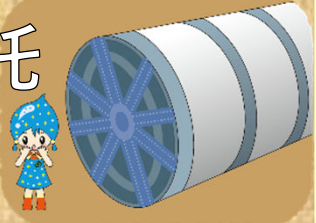


類団平均[R4年決算] 481.88%

※企業債残高対事業規模比率・・・料金収入に対する企業債残高の割合で、企業債残高(企業債現在高合計から一般会計負担額を減じた額)の規模を表す指標、将来的な財政負担の状況を示す。なお、必要な管渠更新の抑制でも低下。
 ※事業規模・・・営業収益(下水道使用料(税込)、他会計負担金、負担金等)から受託工事収益及び雨水処理負担金を減じた額。

8 主要な建設改良事業等について①【下水道施設課(管渠事業費[雨水])】

戸田市 雨水貯留管築造工事委託 (第1期分) ・ (第2期分)



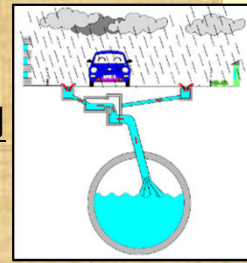
【概要】

戸田駅西口～山宮橋付近の北大通り地下に雨水貯留管(貯留量約26,000m³、内径6m、延長約920m)を整備。令和3年度から工事着手し、令和6年度末に完成予定。工事については、日本下水道事業団に委託して実施。
 ※ 令和6年度はシールド工及び分水人孔、ポンプ施設設置を実施。
 ※ 令和6年度事業費(5,449,500千円)の内訳
 第1期工事：3,726,000千円 第2期工事：1,723,500千円

予算額：5,449,500千円

【財源内訳】

自己資金：0千円(0%)
 企業債：2,724,750千円(50%)
 補助金：2,724,750千円(50%)



※イメージ図

【予算概要】

令和3～6年度の4カ年度事業として
令和3年度予算において継続費を設定

事業費総額：8,586,000千円

【内訳】 R3：943,500千円 R5：1,449,500千円
 R4：743,500千円 R6：5,449,500千円



シールドマシン



令和5年度施工状況

	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度					
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6			
設計	基本設計						詳細設計											
第1期工事							協定締結(12/17)											
工事準備、シールドマシン制作							測量、施工ヤード準備、シールドマシン工場制作											
②セグメント制作							セグメント工場制作											
③発進立坑設置							柱列式中連続壁、地盤改良、掘削、土留											
④防音ハウス設置							組立											
⑤シールド工事							発進準備 → 掘進 → 解体											
第2期工事							協定締結(6/21)											
⑥到達立坑設置							柱列式中連続壁、地盤改良、掘削、土留											
⑦分水人孔設置													5箇所					
ポンプ施設、付帯施設設置													製造、設置、立坑整備					

8 主要な建設改良事業等について②【下水道施設課(管渠事業費[污水])】

令和6年度 公共下水道 污水実施設計業務

【概要】
 公共下水道事業計画に基づく污水未整備箇所(新曽地内)及び雨水管渠工事に支障となる箇所(新曽南3丁目地内)における污水管渠工事を実施するための設計業務。現場状況に応じた布設工法を選定し、設計図、数量計算書等の工事発注に必要な資料を作成。

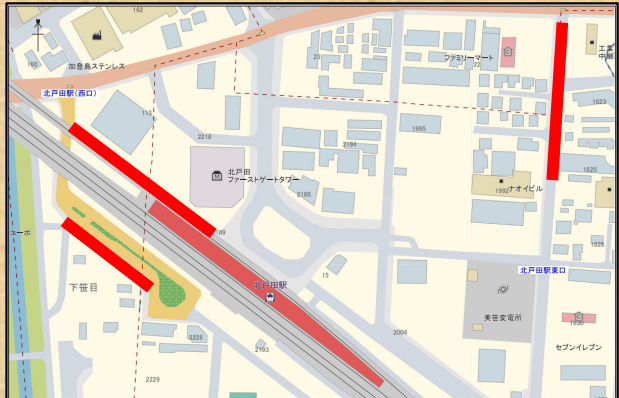
【業務大要】
 污水実施設計

- ・設計延長 L=830m
 (開削 L=750m、推進 L=80m)
- 《内訳》 南部第11-3処理分区 L=565m
 南部第21処理分区 L=265m

予算額： 25,300千円

【財源内訳】

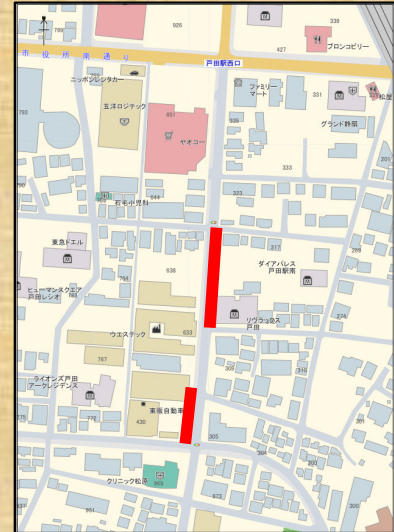
自己資金： 21,650千円(86%)
 補助金： 3,650千円(14%)



新曽第一土地区画整理事業地内(北戸田駅周辺)



新曽第一土地区画整理事業地内(新曽中西側)



新曽中央地区地内(前谷馬場線)



新曽南3丁目地内(戸田病院西側)

8 主要な建設改良事業等について③【下水道施設課(管渠事業費[雨水])】

美女木北二丁目地内水路1号改修工事

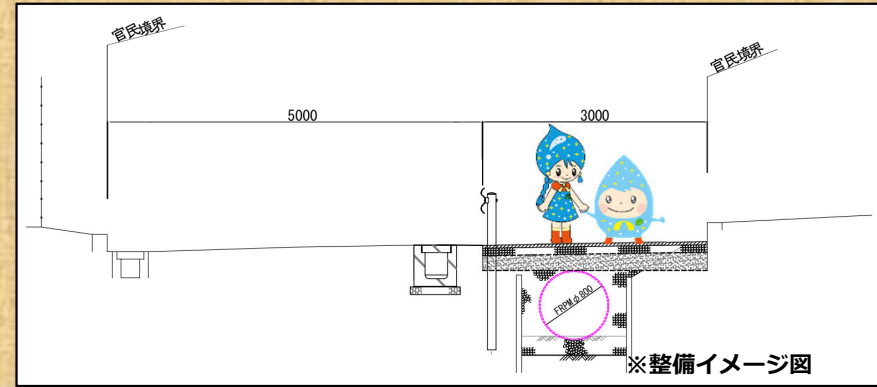
【概要】
美女木向田地域整備計画に基づき、現況で開渠となっている水路について、管渠布設による暗渠化を行い、上部空間を歩行者が通行できる通路として整備。

【工事大要】
工事延長 L=106m
 ・強化プラスチック複合管布設 Φ800mm L=66m
 ・側溝布設工 一式 ・付帯工 一式



予算額： 32,937千円

【財源内訳】
自己資金：32,937千円(100%)
補助金：0千円(0%)



整備箇所
現況状況

左：南から
右：北から



8 主要な建設改良事業等について④【下水道施設課(管渠事業費[雨水])】

令和6年度 公共下水道雨水築造 (その1) 工事

【概要】
 金森橋南側における雨水管渠築造工事。

【工事大要】
 施工延長 L=124.25m
 ・ボックスカルバート布設工 (□900×900) L=124.25m
 ・土工一式 ・仮設工一式 ・付帯工一式



予算額： 87,450千円

【財源内訳】
 自己資金： 90千円(1%)
 企業債： 50,200千円(57%)
 補助金： 37,160千円(42%)

雨水整備率	令和4年度末 (実績)	令和5年度末 (予定)	令和6年度末 (予定)
	72.41%	72.47%	72.52%

令和6年度 公共下水道雨水築造 (その2) 工事

【概要】
 笹目中学校西側における雨水管渠築造工事。

【工事大要】
 施工延長 L=107.46m
 ・ボックスカルバート布設工 (□600×600) L=49.00m
 (□700×700) L=58.46m
 ・土工一式 ・土留工一式 ・付帯工一式



予算額： 57,640千円

【財源内訳】
 自己資金： 50千円(1%)
 企業債： 33,100千円(57%)
 補助金： 24,490千円(42%)



8 主要な建設改良事業等について⑤【下水道施設課(管渠事業費[污水])】

令和6年度 公共下水道污水築造 (その1) 工事

【概要】

健康福祉の杜西側における污水築造工事。

【工事大要】

- ・ 処理分区 第11-3
- ・ 工事延長 L=228.0m
- ・ 整備面積 0.42ha
- ・ 管きよ工(推進Φ200mm) 158.0m
- ・ 管きよ工(開削Φ200mm) 70.0m
- ・ マンホール工 5箇所
- ・ 取付管,ます工 5箇所
- ・ 立坑工,付帯工 一式



予算額： 67,100千円

【財源内訳】

- 自己資金： 77千円(1%)
- 企業債： 46,600千円(69%)
- 補助金： 13,000千円(19%)
- 受益者負担金： 7,423千円(11%)

污水整備率	令和4年度末 (実績)	令和5年度末 (予定)	令和6年度末 (予定)
	96.01%	96.15%	96.39%

令和6年度 公共下水道污水築造 (その5) 工事

【概要】

戸田駅西側北大通りにおける污水築造工事。

【工事大要】

- ・ 処理分区 第11-3
- ・ 工事延長 L=149.3m
- ・ 整備面積 0.32ha
- ・ 管きよ工(開削Φ200mm) 149.3m
- ・ マンホール工 7箇所
- ・ 取付管,ます工 9箇所
- ・ 付帯工 一式



予算額： 20,020千円

【財源内訳】

- 自己資金： 6千円(0%)
- 企業債： 12,400千円(62%)
- 補助金： 5,400千円(27%)
- 受益者負担金： 2,214千円(11%)

8 主要な建設改良事業等について⑥【下水道施設課(管渠事業費[汚水])】

令和6年度マンホール耐震化工事

【概要】

戸田市下水道総合地震対策計画に基づき、重要な幹線等に該当し、液状化危険度が高い管路施設について、診断結果を踏まえ、オリンピック通りの耐震化工事を実施。

【工事大要】

- マンホール耐震化 32基
- 付帯工 一式

【関連事項】

平成30年度
簡易耐震診断

令和2年度
戸田市下水道
総合地震対策
計画策定

令和5年度
耐震化
設計業務

令和6年度
耐震化
工事



地震で浮上したマンホール



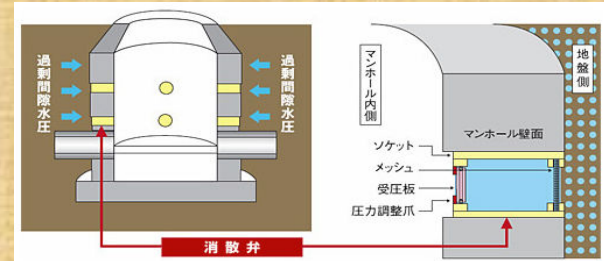
予算額： 85,800千円

【財源内訳】

自己資金： 60,300千円(70%)

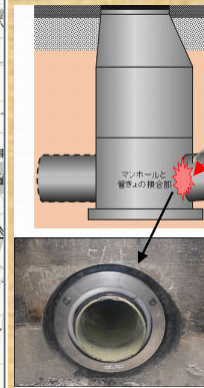
補助金： 25,500千円(30%)

マンホールの浮上防止対策(1)



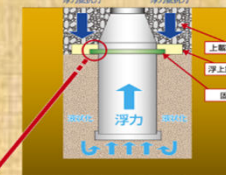
過剰間隙水圧をマンホールに設置した消散井で消散させることでマンホールの浮上を防止。

マンホール可とう継手の設置



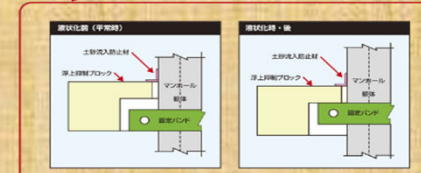
地震による
損傷

地震時の揺れを吸収するためのゴム(可とう継手)を、マンホールと管きよの接合部に設置して柔軟な構造に改良することで地震時の損傷を防止。



マンホールの浮上
防止対策(2)

マンホール上部に浮上抑制ブロック(リング状)を取り付け、その重みによりマンホールの浮上を防止。



8 主要な建設改良事業等について⑦【下水道施設課(管渠事業費[污水])】

令和6年度 公共下水道汚水改築(その1)工事

【概要】
戸田市下水道ストックマネジメント計画に基づく老朽化管路の改築工事を実施。

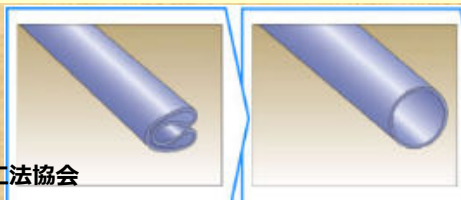
- 【工事大要】**
- 管渠工
 - 更生工法 Φ250mm 457.71m
 - 更生工法 Φ300mm 98.62m
 - 更生工法 Φ350mm 47.70m
 - 更生工法 Φ400mm 38.90m
 - 耐震継手設置工(Φ250~400) 66箇所
 - 付帯工 一式



管更生工法作業状況
例① 引用元：SPR工法協会

予算額：120,442千円

【財源内訳】
自己資金：120,442千円(100%)
補助金：0千円(0%)



管更生工法
例② 引用元：SPR工法協会

予算額：197,608千円

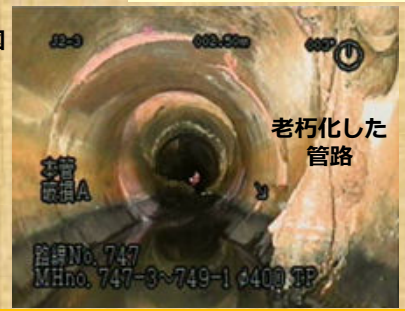
【財源内訳】
自己資金：152,778千円(77%)
補助金：44,830千円(23%)

令和6年度 公共下水道汚水改築(その2)工事

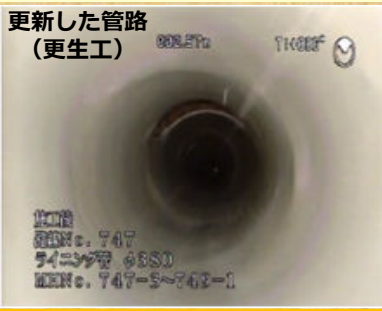
【概要】
戸田市下水道ストックマネジメント計画に基づく老朽化管路の改築工事を実施。

- 【工事大要】**
- 管渠工
 - 更生工法 Φ250mm 157.87m
 - 更生工法 Φ300mm 78.30m
 - 更生工法 Φ350mm 131.90m
 - 耐震継手設置工(Φ250~600) 54箇所
 - 付帯工 一式

※(その1)対象工事箇所
※(その2)対象工事箇所
※イメージ図



老朽化した管路



更新した管路(更生工)

8 主要な建設改良事業等について⑧ 【下水道施設課(施設事業費)】

下戸田・新曽ポンプ場設備等更新設計業務

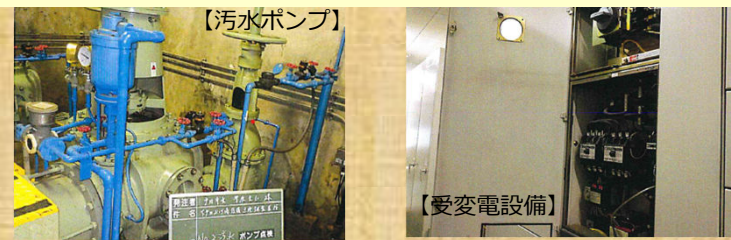
【概要】
老朽化ポンプ場内設備等の更新工事の実施に係る設計業務を行う。

- 【業務大要】**
- 下戸田ポンプ場
 - ・沈砂池内角落し内の防食
 - ・屋上防水・消防設備の更新
 - ・送排風機の更新 有圧扇、換気扇、天井扇
 - ・汚水ポンプ 3台 ・雨水ポンプ 2台
 - ・注水ポンプ 2台 ・受変電設備 一式
 - 新曽ポンプ場
 - ・沈砂池の角落し内の防食
 - ・屋上防水・消防設備の更新



予算額： 30,402千円

【財源内訳】
自己資金： 19,002千円(63%)
補助金： 11,400千円(37%)



笹目第10排水区吐口ポンプゲート設置工事

【概要】
豪雨時の河川からの逆流防止及びポンプによる内水排除を目的として、ポンプゲートを用いた排水施設を整備。
※令和6年度：仮排水路工(設置),ポンプゲート基礎工を実施

- 【工事大要】**
- ・ポンプゲート本体工/土留工 一式(計画水量1.12m³/s)
 - ・ポンプゲート基礎工 一式
 - ・機械・電気設備工 一式 ・付帯工 一式



予算額： 100,980千円

【財源内訳】
自己資金： 80千円(0%)
企業債： 61,900千円(61%)
補助金： 39,000千円(39%)

【予算概要】
令和6～7年度の2カ年度事業として
令和6年度予算で継続費を設定
事業費総額： 476,190千円
【内訳】 R6： 100,980千円 R7： 375,210千円

8 主要な建設改良事業等について⑨ 【下水道施設課(施設事業費)】

下戸田ポンプ場建築設備耐水化工事

【概要】
戸田市耐水化計画に基づき、荒川計画降雨時の想定浸水位に対し、ポンプ場施設の耐水化を実施する工事。

- 【工事大要】**
- ・外部-ポンプ室(窓4台)
電気室(窓2台・扉1台)
 - ・沈砂室-ポンプ室(扉1台・排気管3本)
 - ・廊下-ポンプ室(扉1台)、倉庫(扉1台)
 - ・玄関ホール-電気室(扉1台)



予算額： 46,859千円

【財源内訳】
自己資金： 9千円(0%)
企業債： 29,000千円(62%)
補助金： 17,850千円(38%)



【防水扉】※イメージ写真

笹目第6排水施設(機械・電気)設備等工事

【概要】
戸田市下水道ストックマネジメント計画に基づき、老朽化を迎えた排水施設の更新を行う工事。

- 【工事大要】**
- ・雨水ポンプ
ポンプ本体更新(3・4号)
付帯設備更新(1~4号)
 - ・受変電設備 一式更新
 - ・電動ゲート 一部補修



雨水ポンプ

受変電設備



予算額： 165,000千円

【財源内訳】
自己資金： 80千円(0%)
企業債： 105,000千円(64%)
補助金： 59,920千円(36%)

【予算概要】
令和6~7年度の2カ年度事業として
令和6年度予算で継続費を設定
事業費総額： **499,125千円**
【内訳】 R6： 165,000千円 R7： 334,125千円

8 主要な建設改良事業等について⑩ 【下水道施設課(管渠費)】

戸田市公共下水道事業計画変更図書作成業務

【概要】

荒川流域別下水道整備総合計画変更に伴い、戸田市公共下水道事業計画における全体計画及び事業計画の内容を変更する。
 また、都市計画事業認可申請図書の作成を併せて行う。
 ※全体計画面積 1,315ha(合流405ha、分流910ha)

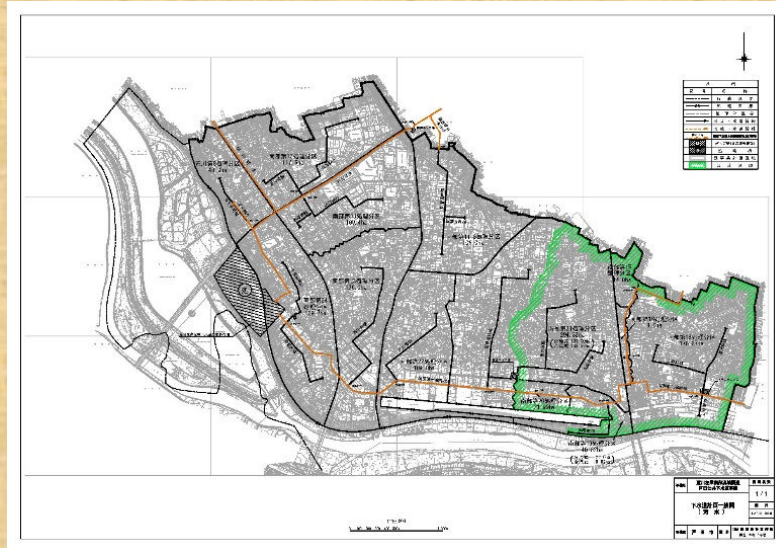


予算額： 34,883千円
【財源内訳】
 自己資金： 34,883千円(100%)
 補助金： 0千円(0%)

【業務大要】

- ・全体計画見直し 一式
- ・下水道事業計画変更 一式
- ・都市計画事業認可申請図書作成 一式

下水道計画一般図 (汚水)



下水道計画一般図 (雨水)

